

2003年度事業報告

事業概要

特定非営利活動促進法が施行されて5年半が経過し、この間全国で約16,000のNPO法人が誕生した。近年、任意団体も含めたNPOの活動はますます活発化し、地域の課題を解決する担い手として、社会の期待も高まっている。

この滋賀の地においても、これまでにない多種多様な活動の芽吹きなど、新しい時代を予感させるうねりが確実に起こっており、新規に特定非営利活動法人の認証を受けた団体は2002年度は38団体であったが、2003年度は72団体に上った。

このような状況下において、2003年度はNPOの組織基盤の強化を図るため、前年に引き続き「おうみNPO活動基金助成事業」を実施し、8団体に対し958万円の助成を決定した。

また、滋賀県緊急雇用創出特別対策事業を活用した「NPO運営支援事業」をさらに充実させ、22団体に対し人的支援を行ったところである。

その他、おうみ市民活動屋台村の開催などにより、新たな市民活動・NPOへの理解を広げるとともに、新しい地域課題に取り組む地域プロデューサーを育成する「おうみ未来塾」では4期生と5期生の運営を行った。また、県立県民交流センターの管理運営を県から引き続き受託した。

なお、地域づくりやまちづくり、福祉、環境、文化等の様々な分野における県民の自主的な社会的活動を総合的に支援するため、各種情報の収集および提供、交流機会の提供、相談事業、人材の育成等、引き続き事業の充実を図った。

事業実績

1 情報提供事業

(1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、県民の動き、意見提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。本年度より紙面を一新し、ページ数を増やし、内容を充実させた。

規 格：A4判 12頁 二色刷

発行部数：12,000部/回

発行回数：6回（NO.35～40・奇数月発行）

配布先：市民活動団体、個人等 2,500部、

他府県NPOセンター、行政（県・市町村）、社協、図書館、
公民館、ホール、大学、高校、郵便局など

(2) 活動団体データベースの整備

活動団体データベースの整備を行うことにより、センターでの情報提供に活用し、活動団体間の情報交流を図るとともに、データベースの更新を実施した。

(3) 淡海NPOデータファイルの発行

活動団体を広く紹介し、ネットワークの形成を促すため「淡海NPOデータファイル 2003年度版」を発行した。

発行部数：400部

掲載団体：615団体

(4) 淡海ネットワークセンターブックレットの発行

センター主催の講座などの記録をブックレットにまとめ発行した。

(2号、各700部ずつ発行)

NO.20 「電子ネットワークとNPO～藤前干潟に学ぶ情報社会の広報戦術～」

NO.21 「市民風車が創りだす地域社会の希望」

(5) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり情報、人情情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供するとともに、閲覧・貸出の便宜を図った。

(6) インターネットの活用

センターのホームページを通じて、センターの事業の活動情報や市民活動団体の情報発信を行った。

アクセス総数：27,929件(累計 88,194件)

(7) メールマガジン「おうみネットe～マガジン」の配信

無料メーリングリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信件数：563件/回

配信回数：42回(第7号～第40号、号外8回)

(8) ファックス・サービス

ファックスを利用して、市民活動団体にイベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

配信件数：170団体/回

配信回数：4回

(9) 広報力向上のための各種講座開催

活動団体の情報発信力を高めるため、各講座を開催した。

ライター養成講座

日時：9月17日(水)・24日(水) 13:30～ 参加者 10人
10月25日(土)・26日(日) 13:30～ 参加者 4人

会場：県民交流センター 202会議室

チラシ作成講座

日時：10月15日(水) 13:15～ 参加者 16人
10月19日(日) 13:15～ 参加者 12人

会場：県民交流センター 202会議室

ホームページ作成講座

日 時：11月19日(水)・26日(水)・12月3日(水)・10日(水)
参加者 午前の部 9人 午後の部 10人
会 場：県民交流センター

2 交流事業

(1) おうみ市民活動屋台村の開催

県内の市民活動やNPOの情報を広く紹介することにより、市民活動やNPOへの理解を深め、こうした活動への参加の気運を醸成するとともに、市民活動団体の交流を深めるため、おうみ市民活動屋台村を実行委員会により開催した。

日 時：10月4日(土)～5日(日)
場 所：県民交流センターおよびなぎさ公園(ピアザ淡海前)
参加団体：130団体
参加者：約3,950人

(2) 淡海ネットワークサロンの開催

県民の市民活動への関心を高めるため、センター主催によるサロンを県内各地で開催した。(3回開催)

「行政のしくみをさぐる」

ゲ ス ト：高砂 利夫(滋賀県総務部予算調整課)
藤本 武司(滋賀県総務部職員課)

日 時：9月10日(水) 19:00～21:00
場 所：県民交流センター 201会議室

参加者：18人

「まちづくり、ひとづくり～ヴォーリスが語りかけるもの～」

ゲ ス ト：石井 和浩(NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動一粒の会)

日 時：9月20日(土) 14:00～16:00
場 所：旧八幡郵便局

参加者：13人

「身近な自然に気づく～住宅地近郊の里山より～」

ゲ ス ト：膳所の山辺を愛する会

日 時：11月23日(日) 10:00～16:00
場 所：大津市相模川上流

参加者：15人

(3) 交流サロンの運営

ピアザ淡海内の交流サロンを運営するとともに、掲示板、情報ラックを活用し、人と情報の交流を図った。

3 活動活性化事業

(1) 相談業務

県民や団体のさまざまな相談に応じる窓口を運営した。

相談実績：来室 111人 電話 72件

(2) おうみ市民活動交流会の開催

活動団体がテーマごとに集まり、相互にノウハウや経験を交流する機会を提供した。

テ ー マ：「連携の可能性を探る」

日 時：12月14日(日) 13:00～17:15

場 所：守山市ライズヴィル都賀山

参 加 者：104人

(3) NPO運営支援事業（滋賀県緊急雇用創出特別対策事業）

NPOの事務を担う人材不足を補い、その活動や基盤強化を図るとともに、地域における雇用・就業機会の創出を図るため、センターが臨時的に職員を雇用し、NPOに対してその職員を出向させた。

応募団体数：26団体

出向団体数：22団体

出向職員数：延24人

出向期間：6か月未満

(4) 企業・NPOマッチング事業

企業で使用されなくなった備品等が市民活動で役立てられるよう、企業とNPO間の仲介を行った。

8月14日

仲介備品：事務机40、事務椅子40、蛍光灯スタンド40、応接セット8、電気ストーブ8

提供協力：松下電器産業・淡海フィランスロピーネット

提 供 先：13団体

9月12日

仲介備品：事務机5、書類キャビネット1

提供協力：松下電器産業・淡海フィランスロピーネット

提 供 先：2団体

(5) 情報ボックスの運営

団体間の情報交換を支援するための情報ボックスの運営を行った。

利用団体：144団体（2004.3.31現在）

(6) ワーキングコーナーの運営

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えたワーキングコーナーの運営を行った。

利用実績：790件

(7) NPO会計サポーター養成講座

経済産業省「平成15年度市民ベンチャー事業」を受託したNPO法人エーピーアイ・ジャパンとの共催により、NPO会計サポーター向けの会計・税務講座を開催した。

テ ー マ：「NPO会計・税務に関する諸問題」

日 時：2月19日(木) 13:30～

場 所：県民交流センター

参 加 者：71人

4 人材育成事業

(1) わくわく市民活動ゼミナールの開催

活動活性化に資する知識・ノウハウを提供する講座や新しい地域づくり等の事例を学ぶ講座を開催した。(開催回数：3回、受講者：延 112人)

「ひとりN G O ~ 支援について考える ~ 」

講 師：栗本 英世(カンボジアこどもの家)

日 時：5月21日(水) 19:00 ~

場 所：県民交流センター 207 会議室

参 加 者：34人

「市民風車が創りだす地域社会の希望～地域資源を活かした市民参加型事業の可能性」

講 師：三上 亨 (N P O 法人グリーンエネルギー青森)

日 時：6月20日(金) 19:00 ~

場 所：栗東芸術文化会館さくら

参 加 者：32人

「コミュニティ・ビジネス入門講座(全3回)」

講 師：鶴飼 修 (コミュニティ・ビジネス・ネットワーク)

日 時：10月25日(土)・11月9日(日)・11月16日(日) 14:00 ~

場 所：県立男女共同参画センター(G - N E T しが)

参 加 者：延 49人

(2) おうみ未来塾の開催運営

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講した。新たに第5期生を受け入れ、第4期生のグループ研究とあわせた一体的な塾の運営を行った。来年度に向けて6期生を募集した。

受講期間：2年間

塾生人数：第4期生 25人 ・ 第5期生 21人

主な日程：第5期生入塾式 6月7日(土)

第4期生卒塾式 3月7日(日)

(3) 研修等の受け入れ

N P O についてより理解を深めてもらうため、N P O に関心を持つ人材を研修生として受け入れた。

インターンシップ実習生(大学生)の受け入れ

受入期間：8月1日～9月15日のうち10日間

受入人数：2名 (財団法人大学コンソーシアム京都より)

自治体・N P O 協働セミナー研修の受け入れ

受入期間：8月1日～3月4日のうち18日間

受入人数：2名 (滋賀県より)

5 おうみN P O 活動基金の運営

(1) おうみN P O 活動基金助成事業の実施

N P O に対して一定期間の資金助成を通じた自立支援を行うため、「おうみN P O 活動基金」により、N P O の基盤整備に向けた助成を行った。

なお、2003年度中に企業等から総額4,694,609円の寄付を受けた。

2003年分助成

助成団体：8団体

- ・農業小学校をつくる会
- ・大津環境フォーラム生ごみリサイクルプロジェクト
- ・菜の花プロジェクトネットワーク
- ・NPO法人NPO ぼぼハウス
- ・NPO法人蒲生野考現倶楽部
- ・NPO法人朽木針畑山人協会
- ・スペースwill
- ・NPO法人CASN

助成確定総額：10,003千円

成果発表会：2月29日(日)

2004年分助成

助成申請団体数：46団体

助成決定団体：8団体

- ・NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター
- ・NPO法人柚の会
- ・NPO法人NPO ぼぼハウス継続
- ・NPO法人蒲生野考現倶楽部継続
- ・早崎ビオトープネットワーク
- ・NPO法人CASN継続
- ・NPO法人サポートハウスほほえみ
- ・滋賀会館シネマホールファンクラブ

助成決定総額：9,580千円

(2) マネジメント講座の開催

2003年、2004年の助成決定団体の幹部スタッフを対象に、組織運営力を高めるためのマネジメント講座を開催した。

講師：石井 布紀子（有限会社コラボねっと）

日時：2月29日(日)

場所：県民交流センター

6 淡海ネットワークセンターの今後のあり方を検討

淡海ネットワークセンターは、これまで支援センターの先行事例が少ないなか、その時々に応じた事業に積極的に取り組んできた。

しかしながら、NPOの成長発展と抱える課題、活動参加者の増加、市町村や地域の支援センター設立の動向などをふまえるとき、より専門性を活かしたセンターへと脱皮する必要があると考え、まず事業活動の見直しについて検討に着手した。

2004年度を目途に当センターの中期展望を示していきたい。

7 滋賀県立県民交流センターの管理および運営

生き生きとした地域づくりを目指して、社会貢献活動その他の様々な分野における自発的な活動に参加する県民が集い、交流するための施設である「滋賀県立県民交流センター」の管理および運営を行った。(滋賀県からの受託事業)

会議室利用料収入：44,653,650 円(前年度比 3%増)